

中国市場向けSNS「WeChat（ウィーチャット）」と「小紅書（シャオホンシュー）」に開設されている鳥取県の観光情報サイトで、鳥取県立図書館の展示が紹介されました！

※「WeChat」と「小紅書」に紹介されている記事内容は、ほとんど同じですが、それぞれの翻訳をしています。

- ・ 1、「WeChat（ウィーチャット）」翻訳
- ・ 2、「小紅書（シャオホンシュー）」翻訳

1、【「WeChat（ウィーチャット）」翻訳】

<https://mp.weixin.qq.com/s/AzT1KsAxDqTfpmL3yjREEQ>（WeChat内の鳥取県観光情報サイト）

国際交流員だより | ビンドゥンドゥンの切り絵で鳥取県の図書館を彩る

河北省図書館～鳥取県図書館

35周年の友情は、末永く！

皆さんこんにちは！今回は鳥取県国際交流員からの投稿です。

去年、河北省と鳥取県は友好締結35周年のオンラインイベントを行いました。その続きとして、今年2月、河北省図書館と鳥取県立図書館が同時に「友好交流35周年」に関する展示を開催することにしました。

両図書館は1996年に「図書交換に関する協定」を結び、図書交換のほかに、定期的に日中友好に関するテーマ展も開催していて、お互いの文化交流を促進しています。

この度の展示はちょうど中国の旧正月と北京の冬季オリンピックを迎える時期にあるので、まさに「双喜臨門」（2つの喜びが一緒に訪れ、めでたい意味）です。そのため、鳥取県立図書館の最も目立つスペースに河北省とオリンピック関係の本などを設置することにしました。友好交流35周年とオリンピックを契機に、日本の皆さんが友好交流をしている河北省、そして中国に対する関心を深めることを期待しています。

交換図書の種類はいろいろ：小説や語学、文化紹介等、そして子ども向けの絵本もあります。ここには、イラストが充実した、ピンイン（中国漢字の発音記号）付きの中国語絵本もあり、日本で生活する中国の子どものほか、中国語を学習する外国の方にも人気です。

図書のほかに、中国の伝統工芸品も設置しました。例えば：切り絵、中国結び、書道作品の掛け軸など。

今回展示した切り絵は見所満載！中国の旧正月という伝統的なテーマだけでなく、十二支や、河北省からいただいた「友好交流」テーマの切り絵もあります。鳥取県の国際交流員として、今回の展示をもっと注目させ、盛り上げたいので、中国の国宝パンダの切り絵はもちろん、最近話題のキャラクターとコラボした切り絵作品も制作してみました。

例えば、切り絵の展示パネルに「少数民族の切り絵が人気だ」とふれました。分かりやすいように、2022年春晚（中国年末に放送される「紅白」に当たる番組）に民族舞踊を披露した「ラフ族」の切り絵を作り、パネルの横に説明と合わせて設置しました。

また、北京冬季オリンピックのマスコット「ビンドゥンドゥン」が日本で人気を博したことを知ったので、北京冬季オリンピックに関連する「ビンドゥンドゥン」と「シェロンロン」の切り絵に挑戦してみました。鳥取県立図書館の方も親切にマジックペンで「ビンドゥンドゥン」を描いて、ブースに

立ててください、展示が一気に賑やかになりました。

ほかに、今回の冬季オリンピック開会式で各国の代表団が手にした「雪の結晶」とダンスを披露した子どもたちが手にした「平和の鳩」を切り絵にしてみました。

切り絵の展示ブースのデジタルフォトフレームに、中国の切り絵文化の紹介が流れています。デジタルフォトフレームの下に「触ってみて、体験するコーナー」が設置されていて、中国結びを実際に触ることができ、匠の技を感じることができます。

中国の工芸品を飾ったことによって、鳥取県立図書館で、旧正月の賑やかな雰囲気を感じていただけます。

鳥取県立図書館は中国のほかに、韓国、ロシア、モンゴルの図書館とも「図書交換に関する協定」を結んでいます。鳥取県立図書館は、国際交流ライブラリー・環日本海交流室があり、日本語のみならず、中国語、韓国語、ロシア語などの書籍も置いてあるので、まさに多言語で、国際的な図書館です。世界各地の伝統や風習についてご興味がある方、そして外国語のオリジナル作品を読みたい方、ぜひとも鳥取県立図書館に訪れてみてくださいね！

鳥取県立図書館

住所：鳥取県鳥取市尚徳町 101

2、【「小紅書（シャオホンシュー）」翻訳】

※前編、後編の2回に分けて投稿されています。それぞれの翻訳です。

<http://www.xiaohongshu.com/user/profile/60e27d9e000000001007ea5>（小紅書の鳥取県観光情報サイト）

前編

鳥取県—河北省図書館 友好交流35周年

皆さんこんにちは！今回は鳥取県国際交流員からの投稿です。

去年、河北省と鳥取県は友好締結35周年のオンラインイベントを行いました。その続きとして、今年2月、河北省図書館と鳥取県立図書館が同時に「友好交流35周年」に関する展示を開催することにしました。

両側の図書館は1996年に「図書交換に関する協定」を結び、図書交換のほかに、定期的に日中友好に関するテーマ展も開催していて、お互いの文化交流を促進しています。

この度の展示はちょうど中国の旧正月と北京の冬季オリンピックを迎える時期にあるので、まさに「双喜臨門」（2つの喜びが一緒に訪れ、めでたい意味）です。そのため、鳥取県立図書館の最も目立つスペースに河北省とオリンピック関係の本などを設置することにしました。友好交流35周年とオリンピックを契機に、日本の皆さんが友好交流をしている河北省、そして中国に対する関心を深めることを期待しています。

交換図書の種類はいろいろ：小説や語学、文化紹介等、そして子ども向けの絵本もあります。ここには、イラストが充実した、ピンイン（中国漢字の発音記号）付きの中国語絵本もあり、日本で生活する中国の子どものほか、中国語を学習する外国の方にも人気です。

図書のほかに、中国の伝統工芸品も設置しました。例えば：切り絵、中国結び、書道作品の掛け軸など。

展示ブースのデジタルフォトフレームに、中国の切り絵文化の紹介が流れています。デジタルフォトフレームの下に「触ってみて、体験するコーナー」が設置されていて、中国結びを実際に触ることができ、匠の技を感じることができます。中国の工芸品を飾ったことによって、鳥取県立図書館で、旧正月の賑やかな雰囲気を感じていただけます！

鳥取県立図書館

住所：鳥取県鳥取市尚徳町 101

後編

ビンドゥンドンで鳥取県の図書館を飾ろう

(前文に続き)

皆さんこんにちは！今回は鳥取県国際交流員からの投稿です。

去年、河北省と鳥取県は友好締結 35 周年のオンラインイベントを行いました。その続きとして、今年 2 月、河北省図書館と鳥取県立図書館が同時に「友好交流 35 周年」に関する展示を開催することにしました。

図書のほかに、中国の伝統工芸品も設置しました。例えば：切り絵、中国結び、書道作品の掛け軸など。

今回展示した切り絵は見所満載！中国の旧正月という伝統的なテーマだけでなく、十二支や、河北省からいただいた「友好交流」テーマの切り絵もあります。鳥取県の国際交流員として、今回の展示をもっと注目させ、盛り上げたいので、中国の国宝パンダの切り絵はもちろん、最近話題のキャラクターとコラボした切り絵作品も制作してみました。

例えば、切り絵の展示パネルに「少数民族の切り絵が人気だ」とふれました。分かりやすいように、2022 年春晚（中国年末に放送される「紅白」に当たる番組）に民族舞踊を披露した「ラフ族」の切り絵を作り、パネルの横に説明と合わせて設置しました。中国は多民族国家で、漢民族のほかに 55 個の少数民族もあることを知っていただきたい。コロナが収束したら、実際に中国を見に来て、中華文明の多様性を感じていただけると嬉しいです。

また、北京冬季オリンピックのマスコット「ビンドゥンドン」が日本で人気を博したことを知ったので、北京冬季オリンピックに関連する「ビンドゥンドン」と「シュエロンロン」の切り絵に挑戦してみました。鳥取県図書館の方も親切にマジックペンで「ビンドゥンドン」を描いてくださり、ブースに立ててくださいました。すると、展示が一気に賑やかになりました。

ほかに、今回の冬季オリンピック開会式で各国の代表団が手にした「雪の結晶」とダンスを披露した子どもたちが手にした「平和の鳩」を切り絵にしてみました。

鳥取県立図書館は中国のほかに、韓国、ロシア、モンゴルの図書館とも「図書交換に関する協定」を結んでいます。鳥取県立図書館は、国際交流ライブラリー・環日本海交流室があり、日本語のみならず、中国語、韓国語、ロシア語などの書籍も置いてあるので、まさに多言語で、国際的な図書館です。

世界各地の伝統や風習についてご興味がある方、そして外国語のオリジナル作品を読みたい方、ぜひとも鳥取県立図書館に訪れてみてくださいね！

鳥取県立図書館

住所：鳥取県鳥取市尚徳町 101